

多様な入札契約方式モデル事業報告会の概要(1/2)

日時・場所

日時：平成29年4月27日(木) 15:00~17:00
 場所：中央合同庁舎3号館 10階共用会議室

出席者

31機関(48名)

説明者

国土交通省、支援を受けた地方公共団体(5団体)

報告内容

①多様な入札契約方式モデル事業の概要 ②平成28年度取組結果 ③平成29年度募集要項 等



参加者からの感想

参加して良かった点

- 他の自治体の具体的な事例を聞くことができ、これからの**事業の進め方のイメージ**を掴むことができた。
- それぞれ**入札契約方式の特徴や、メリット・デメリット**を、実際のモデル事業によって具体的に確認することができた。
- 入札契約方式の選択にあたって、事業における**問題・課題**を、どのように区分・整理し解決を図っていくのか、**具体的な視点や考え方**を得ることができた。
- 行政の業務が複雑化し、コスト削減も求められる中、単純な価格競争にはなじまない契約は、多様な入札契約方式による**透明性の確保**がますます重要になっているように感じた。
- 具体的な事例とともに説明を受けたことで、様々な入札契約方式についての理解が深まり、また、**各自治体が抱えていた課題の解決までのプロセスや事業スケジュール**が大規模工事を発注する際の参考となった。

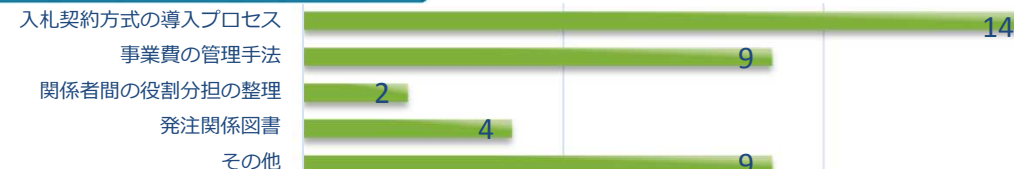
参考になった取組事例・理由

- **ターゲットレベルの設定過程**は、予算規模を検討する上で、大変参考になった。
- 「**不安**」と「**課題**」の**整理という手法**が、問題解決をより具体化し、必要な検討事項を絞り込むという点で、大変参考になった。
- **CM方式**については、**コスト管理の手法**として有効活用が期待できるもので、大変参考になった。
- **基本設計や実施設計の途中で、事業者からの提案や価格交渉を行う事例**をはじめて知ることができた。
- **リスク(留意点)・ベネフィット(効果)分析は、入札契約方式を選択する上で、参考になった**。今後、実施設計や施工の入札の際は、入札契約の方式のうち望ましい方式の選択の活かしたい。
- **多くの専門家の意見を取り入れるスキーム**を、正式な契約関係を構築して実現させていることは、**透明性の確保**に大きなメリットがあり、他事業への応用が可能と思われた。

参考になった支援事業



参考になった具体的な取組



多様な入札契約方式モデル事業報告会の概要(2/2)

支援を受けた自治体からの感想

支援事業者への感想

- 入札契約方式に対する知識や経験が豊富であり、**メリットやデメリットの整理**、整備スケジュールの構築、契約方式の検討等、様々な検討項目について、**スピーディーかつ適切な支援**を受けられた。
- 認識していた課題のみならず、事業全体を捉えた上で課題を整理し、より**専門性の高い支援**を受けられた。
- 今回の支援事業において、設計の工夫のみならず、契約方法の工夫等により**着眼点が広がった**ことは、非常に有意義であった。
- 多様な入札契約方式モデル事業は、自治体のニーズに合った事業であり、能力の高い支援事業者が派遣されたことから、**整備手法の決定のみならず、整備事業全体の推進**において極めて有効であった。
- 他市の状況、市場動向等の情報交換、既存計画書の検討不足箇所の指摘など、**第三者の視点**で、様々な支援を得ることができ、業務進行において非常に助かった。
- 市が抱えている課題や将来発生する可能性があるリスクなどについて、**第三者による検討・検証**を得られたことが良かった。

他の自治体へのアドバイス

- **初期の計画段階**から、運営方法も検討しながら、様々な方法を模索すべきと考える。
- 大規模かつ複雑な事業に対する**マンパワー不足**はどの自治体でも共通の課題であるため、**支援事業も含めCMの活用**は非常に効果があると考えます。
- 各自治体が抱える課題を整理し、**様々な視点から課題の優先順位を整理**することで、対応すべき方針、発注方法の選定が可能と考える。

支援を通じて気がついた課題

- コスト縮減、工期短縮効果に期待し、多様な入札契約方式の検討を行っていたが、支援事業者との協議を重ね、事業全体の方向性が明確になり、改めて市の**現状把握や潜在的な課題**に気付くことができた。
- 発注方式の検討を客観的判断のもとで行うことができたため、選択した内容についての説得力が増し、**説明責任も果たしやすくなった**ものと思われる。
- 多様な入札契約方式がある中で、事例ごとに適切な方式を選択することは、**自治体単独では大変難しい**ものであるということを改めて理解することが出来た。
- 総じて画一的な発注方式を採用していたが、今回の支援を受け、施設の特性を理解し、**より広い視点での発注方式**を検討する必要があるものと強く感じた。
- 経験のない事業ということもあるが、もう少し**内部での課題の抽出、支援内容等を調整**しておくべきであったと思う。

今後の当モデル事業に期待すること

- それぞれの事例が固有の課題を有していることも考えられるので、モデル事業に選定された自治体の窓口を記載し、**他の自治体が気軽に問い合わせ**できるようにすることも考えられる。
- 様々な事業パターンを想定したスキームと詳細な解説、**発注仕様書作成例(事例集)**があれば良いと思う。
- CM業務の発注手法については広まりつつあるように感じるが、各自治体が抱える課題に対応した**発注方法の検討マニュアル的なもの**が作成されれば、様々な業務に活用できるのではないかと考える。
- 施設の整備に当たり、概ねのイニシャルコストとランニングコストや、対象となる補助金や起債等が示されるようなツールがあれば、非常に有難い。